

# 岡山出土の古代桃

**桃**の果肉は腐りやすく、遺跡から出土することはほとんどありません。それに対して、中の桃核（種子を保護する内果皮）は、とても硬いので残りやすく、各地の縄文時代以降の遺跡から出土しています。これらは、長さ2～3cmのものが多く、現在栽培されている桃よりも短いことから、果実も今より小さかったと考えられます。

**日本最古の桃核出土遺跡**

長崎県伊木力遺跡  
（縄文時代前期 約6,000年前）

**岡山県最古の桃核出土遺跡**

津島岡大遺跡  
（縄文時代後期 約3,500年前）

桃核が出土する遺構は、溝や河道、井戸が多く、その理由として、それらが桃核の保存に適していたほか、水に関係するまつりに桃が使われたとする考えもあります。いずれにしても、日常生活や何らかのまつりで、桃が利用されていたことは明らかです。

**今**では夏の果物のイメージが強い桃ですが、古代の桃は薬用が中心であったとする考えがあります。実際に、現在でも種子（仁）や葉は、薬などに使われています。また、平安時代の『延喜式』巻第37典薬寮には、諸国から都に献上された薬の名前や量が国別に記されており、その中に「桃仁」が含まれています。

果たして、食用か薬用か、あるいは全く別の利用であったのか。これは、古代の桃を考える上で、解決しなければならない問題です。

都へ納めた薬（現岡山県関係）

国名	納めた薬	
	種類数	桃仁の量
美作国	41	7升
備前国	40	6升
備中国	42	1斗

『延喜式』巻第37典薬寮から

**食**用・薬用はさておき、桃には不思議な力があると信じられていました。古代中国では、桃の木は鬼神や邪気をはらう力を持ち、実は不老不死や長寿の食べ物と考えられていました。

日本でも、いつからか桃の特別な力が信じられていたようで、奈良時代の『古事記』には、伊耶那岐命が桃の実三つを投げて伊耶那美命の追手を撃退したという話や、平安時代の『今昔物語集』には、鬼の侵入を防ぐために桃の木を使う話が載っています。

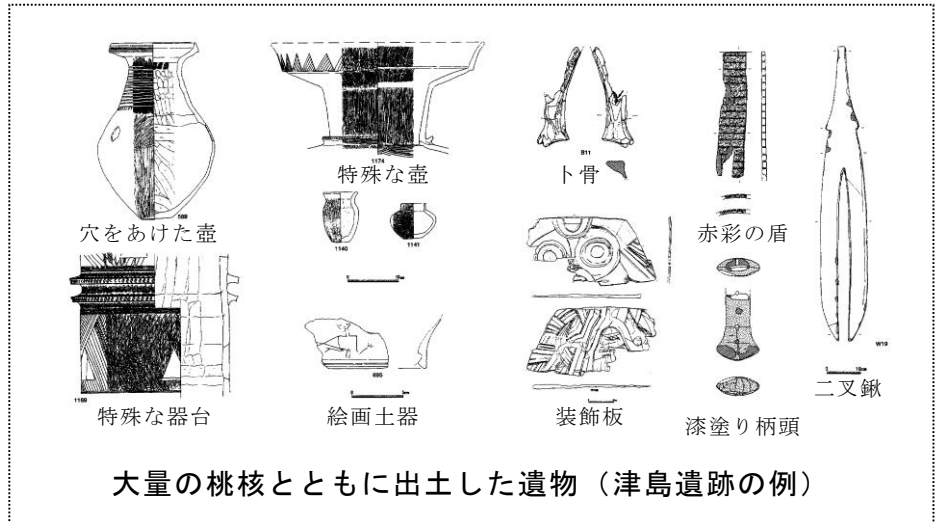
では、弥生時代や古墳時代はどうだったのでしょうか。それを示す証拠は見つかりませんが、同時代の中国や朝鮮と交流があったことは、さまざまな出土遺物からうかがえるので、桃にまつわる思想も入ってきた可能性は十分考えられます。

その後、伊耶那岐命は、桃の実に、自分を助けたように、人びとを苦しみや悲しみから助けるよう告げ、「意富加牟豆美命」と名付けました。

**ひ**とつの遺構から出土する桃核は、数個あるいは数十個程度のことが多いようです。ところが、まれに数百、数千を数える例があります。県内の弥生時代の遺跡では、百間川今谷遺跡の溝、津島遺跡の河道、上東遺跡の河道が挙げられます。

これらで注目される点は、桃核といっしょに見つかる豊富な遺物の中に、まつりや儀式を想像させる特徴的な土器や木製品、骨角器などが含まれる点です。そこに多くの人びとが集まり、それらを使ったまつりが行われたのかもしれませんが。

もし、これらがまつりの結末であったとしても、いつ、どのような集団が、どのようなまつりを、何のために行ったのか、そして桃の役割は何であったのか、その時に果実・桃核のいずれの状態であったのかなど、考えなければならぬことがたくさんあります。



### 県内のおもな桃核出土遺跡

遺跡別の桃核数

遺跡名	出土総数	出土総数 (弥生～古墳)
上東遺跡	9,608	9,608
津島遺跡	2,415	2,415
百間川沢田遺跡	460	460
百間川米田遺跡	400	242
百間川今谷遺跡	384	384
鹿田遺跡	33	7~
百間川原尾島遺跡	22	22
雄町遺跡	10	10
南方遺跡	多数	多数

遺構別の桃核数

遺跡名	遺構名	出土数	時期
上東遺跡	波止場状遺構	9,606	弥生後期
津島遺跡	河道	2,359	弥生後期
百間川沢田遺跡	井戸9下層	401	古墳前期
百間川今谷遺跡	溝15下層	316	弥生後期
百間川米田遺跡	土坑128	76	弥生後期
百間川今谷遺跡	水田4下部溝	63	弥生後期
百間川米田遺跡	井戸110	52	古墳前期
百間川沢田遺跡	井戸11	50	古墳前期
百間川米田遺跡	井戸114	43	古墳前期

### 県外のおもな桃核出土遺跡

県名	遺跡名	遺構名等	出土数	時期	その他の出土遺物
奈良県	纏向遺跡	土坑	2,765	弥生後期	土器類・玉類・弓・剣形木製品・魚骨・ウリ類の種子ほか
奈良県	布留遺跡	流路上層	1,546	古墳後期	土器類・武器・農具・紡織機・琴柱・種子類ほか
滋賀県	南滋賀遺跡	溝	520	古墳後期	土器類・農具・剣形木製品・ヒョウタン・ウリ類の種子ほか
島根県	前田遺跡	河道	408~	古墳後期?	土器類・玉類・土鈴・琴・農具ほか